

# どしゃさいがい 土砂災害

## くず とくちょう がけ崩れの特徴

土砂災害は台風や豪雨、地震によって突発的に発生します。  
市内で起こりうる土砂災害には「がけ崩れ」があげられます。

- ▶ がけ崩れは、大雨や集中豪雨などにより、斜面（がけ）が突然崩れ落ちる現象です。また、強い地震の揺れにより発生する場合があります。
- ▶ 崩れた土砂は、斜面の高さの2～3倍も離れた距離まで届くこともあります。
- ▶ 突然発生し、崩れるスピードが速いので、危険を感じたらすばやく避難をすることが大切です。

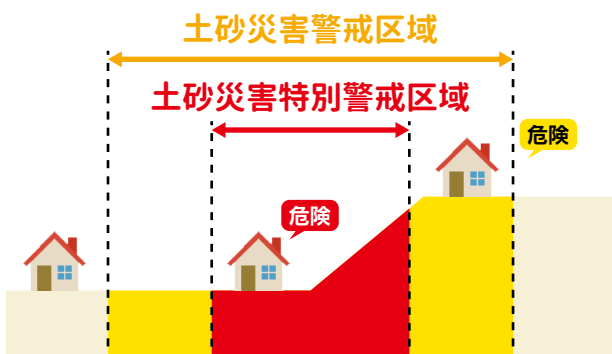
前兆  
現象

- 斜面から水が噴き出す
- 湧き水が増えた
- 地面にひび割れができる
- 地鳴りがする
- 斜面に割れ目ができる
- 斜面から小石がバラバラ落ちてくる



## どしゃさいがい とくべつ けいかいくいき 土砂災害(特別)警戒区域

茨城県では、土砂災害防止法に基づき、土砂災害の被害を受けるおそれがある区域を「土砂災害警戒区域」と「土砂災害特別警戒区域」に指定しています。那珂市には、9箇所の指定区域があります。



### 土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

急傾斜地の崩壊や土石流などが発生した場合に、住民などの生命または身体に危害が生じる恐れがあると認められる区域です。住民などが迅速に避難できるよう、警戒避難体制の整備が行われます。

### 土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

急傾斜地の崩壊や土石流が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民などの生命、または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。

## ひなん すいがい どしゃさいがい 避難するときのポイント (水害・土砂災害)

### 水害

- 気象情報に注意し、早めに避難しましょう。
- 雨のピークが夜になりそうなときは、明るいうちに避難しておきましょう。
- 川から離れ、浸水しない横方向へ避難(①水平避難)しましょう。
- 外に出ることが危険な場合は、状況に応じて建物の上階縦方向へ避難(②垂直避難)しましょう。



### 土砂災害

- 土砂災害の前兆現象に注意し、すぐに避難しましょう。
- 土石流やがけ崩れの起こる方向に対して、横方向へ避難(①水平避難)しましょう。
- 大雨の中など外へ避難を行うことが危険と感じる時は、自宅2階以上の山の反対側の部屋や堅固な建物の上階縦方向へ避難(②垂直避難)することも考慮しましょう。
- 土砂災害危険警報が発表された場合は、すぐに危険なエリアの外へ避難しましょう。
- 記録的短時間大雨が発表された場合は、早めに避難しましょう。

②  
垂直  
避難

